

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
 〒803-0817 北九州市小倉北区田町13-21 田町ビル3F
 TEL093-592-5000 Fax093-571-4346
 E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

戦争への道 安倍9条改悪の阻止をいま、壮大な規模で3000万署名・対話運動に起ちあがりましょう

2018年2月26日

平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）代表世話人会

全国各地の革新懇のみなさん。

安倍首相は、「憲法改正をいよいよ実現する
 ときを迎えている」と公言し、年内にも改憲
 発議をねらい、本気で憲法9条を葬り去ろう
 としています。日本の命運がかかった歴史的
 岐路を迎え、いま起ちあがることをこころか
 らよびかけます。

安倍暴走政治と対峙してきた総がかり行動
 実行委員会、「市民と野党の共闘」の流れをさ
 らに大きくひろげて呼びかけられた「安倍9
 条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」
 （3000万署名）を成功させることが、発議
 を阻止するカナメです。署名運動を必ず成功
 させ、安倍首相の野望を打ち砕こうではあり
 ませんか。

安倍首相は「自衛隊を明記するだけで何も
 変わらない」などと、改憲を受け入れさせよ
 うとしています。このゴマカシを国民的規模
 で打ち破る壮大な対話運動が3000万署名
 です。北朝鮮危機が高まっている今だからこ
 そ、自衛隊の存在を憲法に明記などすれば誤
 ったメッセージを与え、日本の安全をそこな
 うこととなります。自衛隊明記が、9条2項
 を死文化させ、アメリカとともに戦争する自
 衛隊、戦争する国に変えてしまうことをひろ
 く訴え、対話しましょう。

多くの世論調査は、国民が9条改憲など望
 んでいないこと、ましてや安倍首相のもとで
 急いで改憲発議することに反対していること

を示しています。また安倍首相の強引横柄な
 改憲手法は、自民党・与党内にも矛盾をひろ
 げています。さらに希望の党代表も安倍9条
 改憲案に反対を表明しています。野党各党は、
 市民連合との政策合意のなかで「安倍政権に
 よる9条改憲に反対する」ことを確認してい
 ます。

いま、大切なのは、安倍首相の攻撃のテン
 ポに遅れず、3000万人という目標にふさわ
 しく、取り組みを急いでひろげ、飛躍させる
 ことです。全国革新懇事務室にも、「氷点下2
 0度の街頭で署名」「思い切って隣人に声をか
 けたら応えてくれた」「事前に全戸配布し、ロ
 ーラー作戦をおこなった」「『全国革新懇ニ
 ュース』を使って署名を訴えた」などさまざま
 な取り組みが届けられています。全国各地で、
 憲法共同センターと共催しての署名交流会
 （兵庫県革新懇）をはじめ、多くの賛同団体・
 市民団体と協力し、共同をひろげながら、署
 名をすすめています。千葉県革新懇や滋賀県
 革新懇などは、3000万署名推進のための学
 習交流会も開催しています。

各革新懇は、各団体とも協議してその地域
 での目標を持ち、共同を追求し、可能な形態
 で多彩にすすめましょう。そのなかで経験交
 流や情報提供など革新懇独自にも推進をはか
 りましょう。

●一人ひとりの思いと行動を基礎に、街頭・駅頭での宣伝・署名をはじめ、チラシ作成・配布、パレード、地域全戸訪問、企業・団体訪問、SNS活用、意見広告、お祭りでの展示など多数派結集にふさわしい創造的で思い切った取り組みをすすめましょう。

●憲法共同センターに結集し、「9条の会」と連携し、市民団体、町内会、宗教者をはじめ

広範な人びとと協力し、対話の輪をひろげましょう。ニュース発行、学習会、交流会をおこない、学び合い、励まし合ってすすめましょう。署名を推進するための市民アクション・共闘組織をつくりすすめましょう。

3000万人署名推進する小倉地区決起集会が行われました

小倉南革新懇事務局長 黒坂 佳男

「安倍9条改憲阻止の3000万人署名を全国のすみずみで、草の根から一気に広げよう」と2月17日「3000万人署名推進する小倉地区決起集会」が小倉北区のムーブで行われました。各団体から80数名が参加し会場いっぱいでした。主催者を代表して南法律事務所の高木健康弁護士が「小倉地区の目標は9万筆です。戦争法が出来たあとの自衛隊記入は日本を戦争に巻き込

みます。すべての団体が目標達成に向け頑張らましよう」と訴えました。

私たち小倉南革新懇は事務局員を中心に、いろんな団体に所属しながら、個人でも訪問活動や宣伝行動を行っています。また、「戦争法」「共謀罪」など2015年6月から続けている定例の守恒サンリブ前宣伝では「小倉南革新懇」と「小倉南9条の会」が毎月9日、17時から、リレートーク宣伝を行い「安倍9条改憲ストップ！戦争はイヤダの声を3000万人署名に託してください」と訴え、独自で作成したチラシ(小倉南革新懇ニュース)を配布しながら署名活動を行っています。参加者は3名～5名と少ないのですが、チラシの受け取りは非常によく、市民の関心は徐々に高まっています。署名数の目標にはまだまだですが、この3月は3000万人署名をやり抜くために、今なにが必要か、どう行動すべきかの話合いを重ねて、励ましあいながら活動を広げ、9条改憲阻止を必ず成功させたいと思っています。



若松での3000万署名運動

若松革新懇 南部ひろみ

若松では「安倍9条改憲 NO! 若松実行委員会」が発足し、わかまつ9条の会、年金者組合、新婦人若松支部、市職労、競艇労組、福建労、新興アルマー、その他の団体にも呼びかけて、

運動を広げています。

若松区民の会主催で、第一法律事務所の前田憲徳弁護士を講師に「憲法9条」について学習を深め、その後、若松区民の会事務局長の提

案で「実行委員会」が発足しました。若松革新懇の会員もその一員となって活動しています。

実行委員会では、3月末に若松3ヶ所の地域で街頭宣伝活動を広げ、各家庭を訪問しての署名行動を予定しています。

また地域の日本共産党後援会では、後援会ニュースを届けながら地域を回り対話をすすめ、署名を広げています。

新婦人若松支部では全会員・読者に「お願い」の手紙をつけて署名用紙を届け、郵送の読者には切手を貼った返信用封筒を同封して送り

ました。署名は郵送分も含めて毎日、少しずつ事務所に届けられています。また、独自の街頭宣伝や、毎月取り組まれている9条の会主催の6・9行動にも参加し、署名を広げています。「憲法クイズミニ冊子」を使って学習し、対話にも生かしています。

自衛隊を9条に書き込むことは9条を根本的に変え、自衛隊を「軍隊」にしてしまうことを多くの皆さんに伝え目標を達成し、改憲発議を阻止するために力を合わせていきます。

「平和のための戸畑行動委員会」の安倍9条改憲NO!3000万署名運動

戸畑革新懇 青木 信恭

「アベ政治ノー・平和のための戸畑行動委員会」の3000万署名運動の経験を紹介します。

11月に開いた第3回「戸畑行動委員会」団体代表者会議は、「安倍9条改憲 NO!全国市民アクション」のよびかけに応じて、戸畑区で全国3000万の署名目標に見合う対人口比25%の15000筆を目標として運動を展開することを決めました。方針は ①参加団体(戸畑けんわ病院、新婦人、福建労、民商、年金者組合、若戸法律、革新懇、共産党)ごとに署名目標を決め、行動を開始する ②戸畑行動委員会として JR 戸畑駅前での宣伝・署名行動に月3回(9日、第3土曜、29日)取り組む ③3000万署名の協力を広げる団体・個人への申し入れを行う ④「なぜ安倍9条改憲 NO!か」の学習会を開催することなど。

これまでの取り組みは、戸畑駅前での定例の宣伝・署名行動が9回で署名254筆。団体・個人への署名協力の申し入れは15カ所の保育所・幼稚園、2カ所の寺院(教覚寺、明泉寺)、九州工大教職組、九州工大生協労組、F コープ戸畑店、歯科医院など。このなかで2つの保育所から51筆の署名が寄せられました。1月25日には3000万署名達成をめざす「学習・交流会」を開催、

50名が参加して新婦人、けんわ病院、福建労などの署名活動の経験が交流されました。

戸畑行動委員会の3月第1週の集約で、署名数は3302筆です。けんわ病院588、福建労525、新婦人443、年金者組合129、民商50、共産党1170、街頭・その他397筆。目標達成に向けて署名のテンポを上げるために、各団体が全構成員による署名運動に広げること、地域での各戸訪問・署名行動などを呼びかけています。



3月3日北九州憲法共同センターの宣伝行動小倉駅



国家の私物化、文書改ざんは許さない! 真相糾明、 安倍・麻生はやめろ コール鳴り響く 昼・夜の緊急行動に2000人

「森友学園」との国有地取引をめぐる決裁文書改ざん問題で、14点の文書で数十カ所の改ざんを行っていたこと、削除した部分には、安倍晋三首相や妻の昭恵氏、複数の政治家の名前、「本件の特殊性」などの記述があったことを財務省は認めました。また、会計検査院に改ざん後の決裁文書を提出していたことも判明し、安倍政権が組織ぐるみで改ざん、隠蔽していた疑いがより濃厚です。国会提出資料の改ざんは公文書偽造などの罪に問われるだけでなく、「国権の最高機関」である国

公文書改ざんを許さない緊急行動」を提起。13日昼と夜の緊急行動には、それぞれ1000人が駆けつけ、「安倍はやめろ、麻生もやめろ」「疑惑の隠ぺい許さない」のコールが国会に響き渡りました。昼の国会行動で、社民党の福島参議院議員は、「本件の特殊性」というのは安倍夫妻の問題だ。民主主義が問われている。民主主義をとりもどし安倍首相を退陣させようと呼びかけました。民進党の杉尾参議院議員は、「安倍政権を引きずり降ろすまでみなさんとともに闘う」と決意を述べました。日本共産党の宮本岳志衆議院議員は、決裁文書の改ざんは、2月17日「首相答弁との整合性、安倍昭恵隠し」のためにこそ行われたのではないのか。昭恵さん本人を招致すべきと強調しました。夜の国会行動で、共産党の山下よしき(右下写真)副委員長は「公文書改ざんは国会と国民を愚弄するものであり、断固として許されない。内閣は総辞職し、全容を解明すべき」と強調しました。行動提起では、①連日の「安倍・麻生の国家私物化糾弾! 公文書改ざんを許さない緊急行動」14日~16日(14、15日は夜、16日は昼と夜)を成功させ、全容解明と内閣総辞職を求めていく、②3月の19日行動を成功させる、③現在進めている「安倍9条改憲NO! 3000万人統一署名」を飛躍的に広げていく、④5. 3憲法集会を大きく成功させること、を確認し、行動を終了しました。(憲法共同センターNEWS 2018年3月14日第235号)



会と国民を愚ろうするものです。安倍首相をはじめ、国会を欺いてきた内閣は総辞職するとともに、佐川氏や首相の妻、昭恵氏を国会喚問し問題の全容を解明すべきです。戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会は、連日の「安倍・麻生の国家私物化糾弾!

